

かさま 社協だより

No.8



編集・発行 2009.3.31

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730

E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



ハーモニカ演奏に聴きいる「ししどサロン」の皆さん（八反山公民館）

も く じ

- ① 第2回笠間市社会福祉大会 2～5
- ② “社協”ってなあに？ 6～8
- ③ 親同士・子供同士の交流の場 9
「子育てサロン」（笠間地区）
- ④ お知らせ 10

福祉大会

さる2月28日、笠間公民館の大ホールにおいて笠間・岩間・友部地区の福祉活動にたずさわる人々が集い、第2回笠間市福祉大会が開かれました。今回は、110人・13団体が笠間市社会福祉協議会会長より表彰され、16人・11団体に對し感謝状が贈られました。大変おめでとうございます。続いて、東支部・大旭支部(友部地区)・まなだけ会(笠間地区)・上押辺地区(岩間地区)より事例発表がありました。休憩の後、KT福祉研究所代表の松藤氏より記念講演をいただき閉会となりました。

社会福祉の向上に永年にわたり貢献され顕彰された方々(敬称略順不同)

民生委員・児童委員

笠間地区

青木 英子 磯 利子

稲田 實 稲野直子

潮田 昭子 浦井 晃一

海老原悠子 大関 永子

河原ふじ子 木村 裕子

久野 彌一 進藤 茂

高松 幹夫 土谷嘉代子

根本 脩司 藤枝 征宣

友部地区

會澤 和美 芥川 麗子

石井 昌子 上野 昭子

来栖孝一郎 篠原 久子

鈴木 しん 友部 巧造

中庭 幸枝 長谷川悦子

米川 猛

岩間地区

箱田 道子

社会福祉施設・団体の役員

尚生会

生田目 昌 山口 栄

犬塚 新一 大月 政明

榎並 正彦

城北福祉会

羽田 忠

栄進会

関 進

関 恵美

公重会

藤井 重雄

岡野 利徳

岩下 金司

滝田 義

村上 包一

光風会

市原 繁夫

斎藤 悟

高島 真澄

中村 卓雄

吉田 紘子

新保 祐元

鈴木 宗夫

慈永会

橋本 勝

荒川 弘

根本 央

関 たい子

聖栄会

立川 美登

常井 洋治

久信田正廣

伊藤 健一

鶴田 弘司

関 忍

藤井八重子

河村 博

村上 篤

田中 昭子

田中 緑子

鈴木 志郎

田村 純六

平山 勝代

吉田 昭久

坂本 和重

菅原 淳一

松本 直行

宗像弥寿夫

田村 哲二

島川 清

立川 孝子

打越 千夫

萩野谷幸三

在原 マサ

塩畑 芳彦

ボランティア

笠間地区

笠間市ボランティアサークル「レインボー」

笠間点訳の会

宮山 茂夫

鈴木 正美

斎藤 フジ

災害・救援ボランティア「友援の会」

友部おもちゃ図書館「ところのいえ」

精神保健ボランティア友「TOMO」

放課後児童クラブボランティア

紙芝居いろは

ともし灯(手話)

心にとどけの会

ナマステの会(海外支援活動)

シニア体験サポート

さくらんぼ(子育てサポート)

トワイライト(施設訪問)

心配ごと相談員

笠間地区

加藤 昌昭

友部地区

綿引 一

岩間地区

平山 正

本会の役員(評議員)

友部地区

関 一雄

岩間地区

山田 昇

本会設立時の功労者(退任)

前会長

海老原元彦(笠間)

前副会長

打越 久(岩間)

前理事

中村 清(友部)

島田 榮(岩間)

北條 敦子(岩間)

大関 久義(岩間)

故宮本 富子(友部)

前監事

森 徳壽(笠間)

伊藤アキノ(友部)

前評議員

持丸 敦(笠間) 強口玄子(岩間)

磯山寅次(岩間) 山田定次(岩間)

川崎史子(岩間) 久野 昭(友部)

原田敏子(友部) 海老澤勉(友部)

川澄清子(友部) 保坂悦男(笠間)





講演をする松藤先生

第2回

笠間市

善意銀行への寄附

団体

(株)笠間ソフトメン橋本屋
(株)フードサプライジャスコ
北関東センター

友部読書会連合会

バサー夢工房

インターパック(株)

岩間ライオンズクラブ

水戸ヤクルト販売(株)

日本敬神宗祖自修団

笠間市立図書館

笠間チャリティゴルフ大会実行委員会

笠間地域雇用対策協議会

個人

笠間地区

故天野 昌子

石井 とし

故栗林 盛定

長谷川昭一

渡邊 松子

飯島 敏光

鶴田 歌子

野口 貢

渡部 悟平

海老原元彦

川松 澄江

田村 浩

藤岡 靖之

鈴木 美代

中村 晃

矢吹 和夫



講演会

合併がチャンス！

地域福祉の新しい国

講師 KT福祉研究所 松藤 和生

「ふくしのまちづくり」の基本はノーマライゼーション社会の構築である

ノーマライゼーションとは

「高齢者や障害者などを施設に隔離せず、健常者と一緒に助け合いながら暮らしていくのが正常な社会であるとする考え方、または、それに基づく社会福祉政策」(大辞泉より)の意味をもっています。

私たちの社会

子ども(児童)

お年寄り(高齢者)

障害者(ハンディキャッパー)

大人

外国人

みんなが仲良く楽しく暮らしていくこと

一、お年寄りのこと

高齢化は、平成24年を境に一気に進む。8年後に人口が減り、高齢化に拍車がかかる。・子供を増やす努力をしなければ

ばなりません。

高齢化率

(65歳以上の高齢者数÷人口×100)

1970年：高齢化社会7%

1995年：高齢社会14%

2004年：超高齢社会20%

三、私たちの国の援助活動の歴史

◎地域の縁(地縁)

遠くの親戚よりも身近な人々による助け合いが我が国、国の生活基盤となってきた。

・結：田植えや稲刈りなどの農耕を通じた助け合い

・講(無尽)：座・連・組・団

・隣組：国民統制のため、第二次対戦下の昭和15年に

制度化。5〜10軒を1単位として部落会・町内会の下

に設けられ、配給・供出等の末端組織として機能した。

◎志縁(支援)：

地域福祉の新しい形

四、地域福祉の新しい形

市町村が合併したとしても、

社会福祉協議会が1つになる

必要はない。しかし、合併して

必要はない。しかし、合併して

必要はない。しかし、合併して

必要はない。しかし、合併して

必要はない。しかし、合併して

必要はない。しかし、合併して

講師 松藤 和生 <KT福祉研究所 代表>

淑徳大学社会福祉学部卒

千葉県社会福祉協議会勤務

12年勤務後両親の「介護生活」を1年送る。

その後、研究機関で調査、研究活動に入る。現在、福祉ボランティア関連の研究をする傍ら、全国各地で年間150回以上の講演活動を行っている。

敬愛大学講師、中央看護福祉専門学校講師他

(鶴田)

1つになったことは、結果としてよいことと思う。即ち、合併前より地域福祉に対する視野が広くなり、お互いの努力・助け合いも可能になってくるからです。

本来、私たちの祖先が築き上げてきた地域のつながりを新たなコミュニティ(住居地域を同じくする共同体)づくりへとつないでいきたいと願っています。そして、住民が色々なことに参加し、住民同士が楽しく健全な生活を営んでいく。それを志縁(支援)していくのが、「地区社会協」の役割ではないでしょうか。みなさん、頑張ってください。

社協事例発表

事例発表の様子



友部第二小学校区の26行政区、会員数は約2000戸から構成されています。

運営は、支部役員、支部委員、部門委員などがあたり「ふれあい・助けあい・思いやりのある地域コミュニティづくり」を活動方針に掲げ次の事業を展開しています。



●子供たちの健全な育成
(1) 子供会育成
会代表者との懇談会の開催

友部地区 旭支部

支部長 深川 義明

今年度は児童生徒の携帯電話の所持について、専門家を招き実施。
(2) 下校時の安全確保
58人の学校安全ボランティアの協力

力により、児童生徒の見守り活動を実施

(3) 子供の居場所づくり

ボランティアの協力により子供たちが安心して過ごせる居場所づくりを月1回行つた。

(4) 友二小ふれあいのつどいの開催

ボランティア約80人の協力により、竹馬、ペーゴマなど

22種目の昔遊びなどを実施。
(5) 地区三世代ふれあいのつどいに対する支援

●高齢者対策

(1) ひとり暮らし高齢者等に対し2回の配食を実施。

(2) 80歳以上の高齢者を招きふれあい食事を開催

(3) 高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会を開催。

(4) 在宅介護者の思いを共有し孤立感をやわらげるためのふれあいサロンの開催

(5) 敬老会開催に協力

●広報活動

支部広報紙を年3回発行

●今後の展望

会員のニーズに応じた事業を実施するとともに、高齢時代に対応した安心安全な地域づくりを推進していきます。

そして、未来を担う子どもたちの健全な育成を図ってまいります。

(小野)



モチモチの木大型紙芝居

東支部は、友部小学校区の東部に位置する26行政区からなり会員数は約1800戸で構成されています。

組織については特徴的な事は、支部内の行政区長や民生・児童委員、各区の福祉推進員など様々な立場の人で構成されている事です。

活動の目的は、笠間市協の下部組織として、地域性を活かしてその業務推進に協力することです。



主な活動内容を紹介します

●高齢者福祉活動
・配食サービスやしあわせサロンでの70歳以上を対象にした散策や食

友部地区 東支部

支部長 打越 貢

・グラウンドゴルフやクロッケー大会

●地域福祉活動
・支部内にある友部養護学校や県立リハビリセンターの行事への参加と交流

・民間の福祉施設での交流やボランティア活動(入所者の散策や買物介助など)

●人づくり地域づくりの促進
例として、



南友部地区三世代交流でのもちつき

・南友部地区や五平地区で実施している三世代の集いへの支援

・柿橋地区の運動会への支援

・南友部地区の子供みこし祭りや花火大会への支援など。

これらの行事は、伝統の継承と子供の健全育成にも資するものです。

その他中央支部と協力しながら友部小学校の児童保育への支援も行っています。

●広報活動

広報「ひがし」を年4回発行

●あずま会の充実
「あずま会」と称する女性部が配食、会食、サロンの運営をしたり、福祉バザー、施設ボランティアへ積極的に参加しています。

(生天目)



支部・地区

笠間地区には現在、街中の荒町地区「こうゆう会」と上加賀田地区「まなだけ会」の2つの地区社協があります。どちらも県社会福祉協議会から補助を受け、3年間地域づくりを進めて、19年度に地区社協として誕生しました。



笠間地区 まなだけ会 会長 黒沢 政男

「まなだけ会」は、地域にある「まなだけ山」の名称をとって名づけられ、上加賀田公民館を拠点として、2つの行政区約160世帯で様々な活動をしています。活動は3部会で、公民館、区の役員子ども会、消防団、民生委員、などの代表者で構成され、地域住民の参加のもと連携を図りながら活動を展開しています。花いっぱい運動部会は、県道沿いの4か所の植栽と花壇の整備活動。リサイクル活動部会は、アルミ缶やビール瓶の回収活動などを行い、益金はまなだけ会の活動費になります。寄りたいあいさつ運動部会で地域の休耕田を借りて行う米作りに力

を入れています。大人から子供まで大勢で行う田植え作業、秋の刈り取りにもぎやかな作業となります。収穫されたもち米は、敬老祝会に赤飯にして地域のお年寄りにふるまわれ、正月過ぎには餅つきをして、地域の人たちみんなで食べ、子供たちは藁玉にして用意された木に紅白のもちをいっぱい付けて持ち帰ります。今年の餅つきは70人位参加し、にぎやかな餅つき会になりました。

これらの事業に地域女性の活躍があり、様々な活動を行うことによって、地域の人たちがあいさつや言葉を自然に交わせるようになりました。地区内に住む人たちの顔が見え身近な存在となつて、一層地域の結びつきが強く輪が深まってきました。

(事務局)



地域の人々ももちつき

上押辺地区は、岩間駅から東へ4km、茨城町へ至る街道筋に位置する、住民660人の地区であります。

●発足に至った経緯

平成20年3月2日に地区総会を開き、社協からの説明会を開催区社協について説明を受けました。活動としては今までと同じであること、



岩間地区 上押辺地区 運営委員長 常井 武夫

会員会費の還元があることで準備委員会が発足しました。

●平成20年7月21日発足式

地区各役員によって組織・規約・事業計画が了承されました。

活動内容には、エコ活動を主とし、

今までより充実を図りました。

●人と人との交流活動

上押辺地区大運動会を行い、女性、子供も加わり住民総参加で、反省会には多くの方と交流を図っております。

敬老会には子供たちからのプレゼントも行われております。

12月9日には健康サロンを立上げ、月1回シルバーハ



運動会が終わりみんなで反省会

ビリ体操、おしゃべり会を2時間程楽しく行い、今後は、月2回にしたいとの盛りあがりです。

●今後の活動

・福祉の情報紙(かわら版)の発行。

・見守り活動の実施。

●今後の課題

・後継者の育成、確保
・多くの人が参加してもらうための取り組みなどです。

(山田)



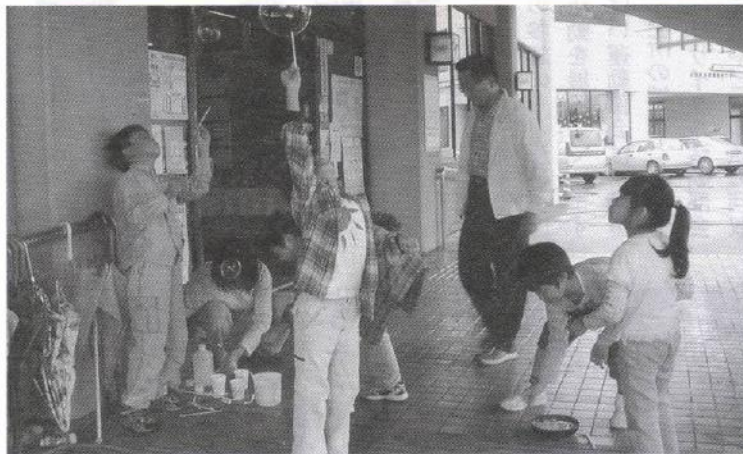
てなあに？

No.2

知っていましたか？ 社協とはどういふところか...。7号では、社協が何のためにどのような目的で設立されたのか、また福祉とは何なのかを掲載しました。ちょっと難しくなりましたがご理解いただけたでしょうか。

さて8号では、「どんなことやっているの？」と題して実際に取り組んで活動している「支部（地区）社協の育成・支援」「心配ごと相談事業」など5つの事業を次のページにかけて紹介したいと思います。

支部（地区）社協の育成・支援



笠間支所 まなだけ会（上加賀田）・こうゆう会（荒町）が活動しています。

岩間支所 上押辺地区社協が誕生しました。

友部支所 小学校区で分かれた支部社協が6つ（①穴戸②東③中央④大旭⑤北川根⑥大原）あり、独自の特色を生かしながら様々な活動を展開しています。

どんなことをしているの？

「向い三軒両隣り」の助け合い体制づくりを推進し、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指しています。

小学校区、または行政区で支部（地区）社協を設置し、住民組織の連携を密にして「住みよいまちづくり」に向けた活動を進めています。

サロンづくり

身近なところで、仲間と気軽に楽しく集う、場づくりを支援しています。

笠間支所 サロンと似た形式で12か所の公民館で行っています。

岩間支所

地区の公民館や保健センターで、8つの「サロン」が活動。さつきサロンの会（大網）・なでしこ会（春日町）・なごみ会（新渡戸）・サクラ草の会（日吉町）・えくぼクラブ（保健センター）・みどり会（南春日町）・栄の会（栄町）・安居東部さくら会（安居東部）があります。

友部支所

《穴戸支部》地区の高齢者クラブを訪問して一日を楽しく過ごすとうと、平成15年「ししどサロン」が誕生。年に2回の予定で、支部担当者が地区公民館に向いて、楽しい催しを考え提供しています。

中央支所

《中央支部》一日を楽しく過ごしていたくことを目的に平成8年「ミニサロン」をスタート。今は「しあわせサロン（散策2回・会食会1回）」としてそれぞれ行っています。

《北川根支部》平成7年に「お茶のみ会」として発足したコミュニティエーション作りの場が継承され、今では各地区ごとに行う



バルーンアートに挑戦（ししどサロン）



シルバー体操する栄の会

「茶和会」と、支部を3地区に分けた「合同茶話会」が開かれています。

《大原支部》「いきいきサロン」として年1回、支部役員も参加しての日帰り野外散策や食事会を行っています。

そのほか大旭支部では80歳以上の方との「ふれあい食事会」。東支部の「高齢者との対話と食事会」があります。（関）



最近一年間の主な相談内容

[単位: 件]

相談事項	笠間	友部	岩間
生 計	2	0	1
職 業 ・ 生 業	1	2	0
住 宅	1	1	0
家 族	3	5	2
結 婚	1	1	3
離 婚	3	4	6
医 療	1	1	3
精 神 ・ 衛 生	0	1	0
人 権 ・ 法 律	3	7	1
財 産	21	17	8
事 故	0	3	3
教 育 ・ 青 少 年	0	1	0
老 人 福 祉	2	0	0
苦 情	3	1	2
そ の 他	9	2	4
合 計	51	46	33

心配ごと相談所設立の歴史は古く、昭和20年代の後半に市町村社会福祉協議会が組織されました。心配ごと相談所あるいは類似した相談所の名のもとに、各地において「生活上の困難に対するよろず相談」が試みられるようになりました。昭和35年には全国的に推進していくため、国や地方自治体が市町村社会福祉協議会が運営する心配ごと相談所を支援する動きも出てきて、相談所の充実をみるに至りました。

笠間市社会福祉協議会でも、各支所ごとに相談員8人（民生・児童委員及び学識経験者）体制で「悩みごと、心配ごとをもった人なら誰でも、どんな問題でも気軽に相談を持ち込める窓口である」ことを基本にして、事業を展開してきました。
個人の秘密は守られ、相談は無料で匿名でも受けられます。
相談内容によっては、関係機関につなげる助言・弁護士相談の

心配ごと相談事業

予約等も行っております。
どんなにささいなことでも、一人で悩んでいないで、相談員と一緒に考えてみましょう。（皆塚）



支 所

心配ごと相談

笠間支所	毎週火曜日	午後1時～4時
友部支所	毎週水曜日	午後1時～4時
岩間支所	毎週木曜日	午後1時～4時

※相談無料・秘密厳守（祝日の場合は休みとなります）

●マイペースで美しく歩こう。

——正しいウォーキングのフォーム——



（小野）

（社）日本家族計画協会資料

◎正しいウォーキングフォーム

- ・つまさきにゆとりがある。
- ・かかとにクッションがある。
- ・通気性がある。
- ・足によくフィットする。

今がウォーキングを始めるのに最適な季節。はじめてみてもいいかながどうでしょうか。あふれています。

健康法として注目され、また、最も適した有酸素運動ともいわれております。ウォーキングは、移りゆく季節を肌で感ずることができ、新たな出会いや発見などがあり楽しさがあふれています。

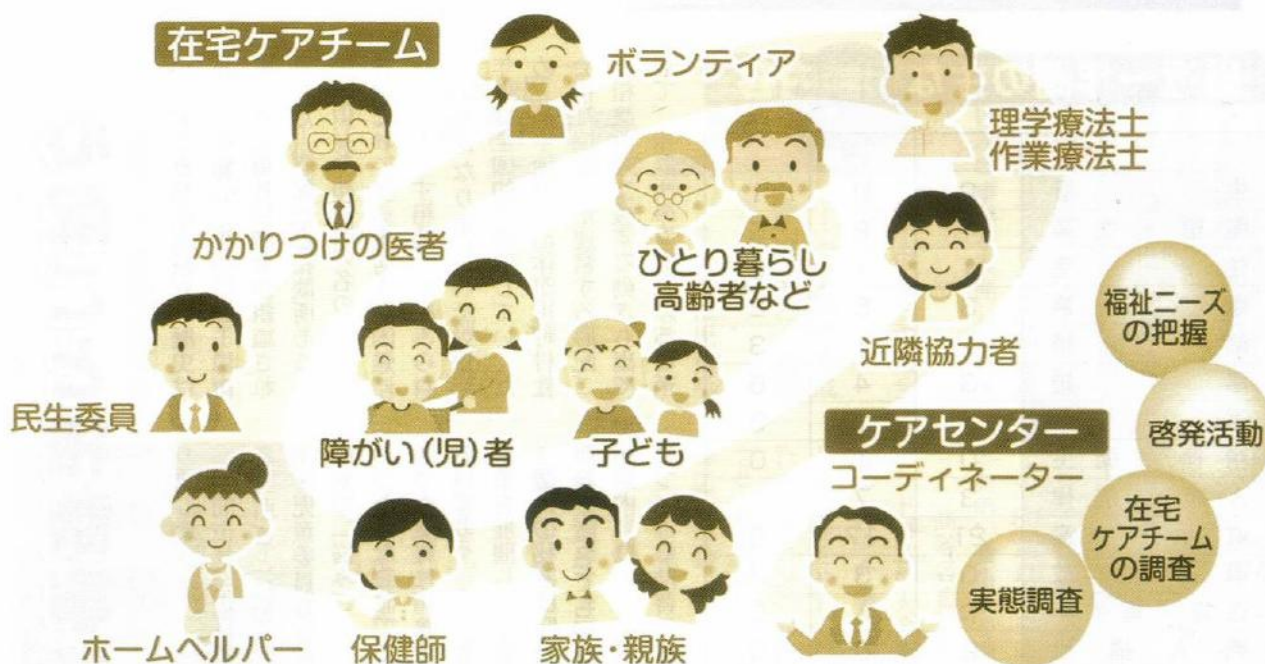


楽しくウォーキング

ウォーキングは、運動不足を解消し、体力をつけ、肥満や生活習慣病などを予防する手軽な

地域ケアシステム推進事業

高齢者や障がい者などが、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域住民、医療、保健、福祉の関係者でチームをつくり日常生活を支援します。



日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)

「福祉サービスを利用したいが、どうすればいいんだろう?」「計画的にお金を使いたいけど、いつも使いすぎてしまう」といったような、毎日の暮らしのなかの不安や、判断に迷うことをサポートします。

対象となる方は? 自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、日常使うお金の管理に困っている方

主なサービス内容は? 福祉サービスの利用申込みや契約手続き、日常使うお金の出し入れなど

手続きは?

- 相談の受付 (社会福祉協議会に連絡してください)
- ↓
- 相談・打合せ (専門的な知識をもった担当者がうかがいます)
- ↓
- 契約書・支援計画作成 (困っている内容を一緒に考え、支援計画をつくります)
- ↓
- 契約・サービス開始 (利用契約を結び、支援計画にそってサービスを提供します)

費用は? 相談から契約までのサポートは無料です。それ以降の福祉サービス利用手続きの援助や金銭管理などのサービスは、1時間あたり900円です。

子育て支援活動 子育てサロン

笠間市更生保護女性会 笠間支部長 甲斐邦子

更生保護女性会では、明るい社会づくりを目指し日々活動しています。特に、少年の健全育成の一つとして、子育て支援事業を全国規模で展開しています。

笠間支部では笠間市の母親と子供達のために、支援事業に取り組みました。実態調査の結果から、母親の求めているものは「集うことの出来る場と、親同士・子供同士の交流」であることに着目しました。

これらの内容は、会員一人ひとりに着目しました。



今日のおやつは何かな。

とりの経験と知恵を生かし、対応できるのではと思い「やってみよう」と社協の方の助言を頂き、平成13年度に「子育てサロン」を立ち上げました。

母親に「ホッ」とリラックス出来るような集いの場を、提供してあげたいとの想いは、ここ8年間変わらず、現在に至っています。

「子育てサロン」の活動内容は、社会の変化や子供達の成長に合わせ、少しずつ変わってきています。それらに対し会員(31人)がチームを組み、毎回の活動に取り組んでいます。

常に、母親や子供達が喜んで参加し、自由な楽しい活動が出来るように心掛けています。

毎回の子育てサロンでは母親同士が、生き生きと楽しそうなおしゃべりの中から育児について情報交換し、子供の成長の様子に気付いたり、育児に対して自信と安心感を持つ様子がうかがわれます。

更に、子供同士の関わりや社



みんなで手遊び

会性の発達には、毎回目を見張る感動する事が多々あります。

ある時、偶然に3か月前後の赤ちゃんが5人参加した事がありました。そろって寝ている赤ちゃんに元気な子がのたりしたら・・・と心配でした。ところが、いつの間にか遊んでいた子供達みんなが寄って来て、赤ちゃんを取り囲みのぞき込んでいます。足にそっとさわる子・揺籠を動かす子・手を握る子・みんなとつても優しい表情です。ボールで遊んでいた子がのぞきにきてボールを赤ちゃんのお母さんに渡しています。「あんだよ出来るようになったら遊んでね」

◆子育てサロン

- ・毎月・第3木曜日 9時から11時30分まで
- ・みなみ公民館(笠間市下市毛)

◆子育てサロンは

- ・お母さんたちの楽しいおしゃべりの場
- ・子供たちの楽しい遊びの場
- ・日常生活からちょっと離れほっとリラックスする場

◆初めて参加するお母さんから聞かれること

- ・みなみ公民館は 何処 R 355 やきもの通りの近く
- ・時間は 開所日の都合のよい時間に
- ・費用は 無料
- ・どのような活動を
親子が、自由に遊び・おしゃべりの出来る集いの場
- ・参加している方は
乳幼児と母親(誕生から保育所・幼稚園入園前)
出生前の母親



と言われ嬉しそうです。大きな泣き声にびっくりしてお母さん呼びに行く子、さようならまで赤ちゃんとの諸々の関わりが見られました。「サロンではみんなが兄弟姉妹ですね。家族みたい」とあるお母さんが言った言葉は、今後のサロンの真髄を示しているように思いました。

毎回、子供達から元氣と感動をいただく中で、子供達が兄弟姉妹・母親・父親・近所の人たちとのコミュニケーションの中で力強く成長していく姿をかいま見ている今日です。

地域の子供達の健全育成を考えた時、「子育てサロン」のような場は地区社協づくりのきっかけにもなり、今後も、私たちの経験と実績を地域での子育て支援に生かしていく事が出来たらと願っております。

善意の寄附を「あいがとう!!」(善意銀行預託)

平成21年1月1日～平成21年3月31日まで(順不同・敬称略)

物 品			
秀芳会笠間支部	使用済切手1400枚	池田 正	米30kg
笠間幼稚園PTA	使用済切手1805枚、使用済テレホンカード21枚	西山 とし子	タオル多数
旭エスケーピー	使用済切手	友部 たかの	じゃがいも20kg
中根 光代	使用済切手、使用済テレホンカード	綿引 美枝子	防犯DVD4枚
岩間第一幼稚園	使用済切手5076枚、使用済テレホンカード11枚	根本 ふみ	カラー拡大読書器
茨城久栄商事(株)	使用済切手多数	市川 いさ子	紙ゴミ箱100枚
青葉町長寿会	使用済切手1320枚、葉書12枚	竹田 和子	切手
原田 節子	使用済切手多数	塩畑 孝子	フェイスタオル
小坂 桃子	使用済切手100枚、使用済テレホンカード9枚	匿名	かさ130本、タオル120本
斎藤 はるみ	使用済切手	〃	使用済切手500枚
笠間給食センター	使用済切手	〃	ブルタブ多数 2件
飯村 七重	紙おむつ	〃	介護用品多数
長谷川 まさ彥	紙おむつ	〃	年賀はがき67枚
大木 秀夫	紙おむつ	〃	葉書1795枚
稲見 さい	衣類、紙おむつ	〃	使用済切手
柴山 清	大根		
南 一郎	大根・白菜・芋がら・その他野菜多数		
美留町 文男	大根・白菜・芋がら多数 1/26・2/2・2/9・3/9		
久保田 満子	大根・白菜多数		
山田 昇	チンゲン菜・小松菜・白菜 3/2・3/9		
下安居防火クラブ	ペットボトルキャップ、ブルタブ多数		
佐々木 直也	ペットボトルキャップ、ブルタブ多数		
笠間市立友部小学校児童会	ペットボトルキャップ多数		
不二製油(株)関東工場	ペットボトルキャップ、使用済切手		
水戸市立赤塚小学校6年2組	ペットボトルキャップ多数		
坂野 恵造	小松菜・ヤーコン・大根その他野菜多数		
インターバック塙原運輸配送一同	ブルタブ多数		
笠間市立岩間第二小学校	ブルタブ多数		
おかみさん会	ブルタブ多数		
ありんこ	未使用葉書100枚、切手30枚		
村上 トキ	書き損じ葉書		
松佐 八重	喜盤、喜石		

金 銭	
バザー夢工房	13,150円
友部ごみを考える会	3,000円
青葉町長寿会	33,968円
岩間ライオンズクラブ	100,000円
元自治労笠間市退職者の会	21,802円
さくらガス(株)	20,000円
リユース笠間図書館	79,830円
笠間建設組合	11,600円
日本敬神宗祖自修団	30,000円
仲田 米蔵	50,000円
常井 鞠代	1,544円
労金友部支店推進幹事会	29,055円
さくら幼稚園 PTA	20,000円
匿名 14件	103,608円



福祉センター付近の桜(08.4.2)

福祉センター「いわま」の一般開放日どうぞ!

愛宕山中腹にある福祉センター「いわま」では、毎週木曜日(祝日と重なるときは休館)一般の方に、ご休憩・ご入浴などご利用いただくようご来館をお待ちいたしております。

休憩室からの展望はすばらしく(個室は予約が必要です)会議や囲碁・将棋などにもご利用なされてはいかがでしょうか。

桜・新緑などハイキングのお帰りに季節の湯香りを楽しんでください。

- ・ご利用時間: 九時～十六時
- ・入浴時間: 十時～十五時
- ・利用料金: 大人三〇〇円 小人一〇〇円

お茶の用意があります。

今年の冬は暖かったせいか、桜の開花が早く、広報紙がご家庭に届く頃は、八重桜が咲くよい季節を迎えていることでしょう。

今回は、社協が実際にどんな活動をしているのか、笠間市福祉大会で表彰された人々・講演会のお知らせなどを特集しております。

これからも会員のみなさまにとつて読みやすく、わかりやすい広報紙づくりに努めてまいります。ご意見ご希望がありましたら、各支所へお寄せください。

(鶴田)



山口会長から梅崎副会長へ

チャリティー金を 善意銀行へ

去る3月25日、毎年恒例の岩間ライオンズクラブ主催のチャリティーゴルフ大会が開催され、「社会福祉のため」にと、10万が贈呈されました。